

議案第 1 号

令和 3 年度
中海・宍道湖・大山圏域市長会
事業実施報告

目次

1 事業実施概要	……p. 1
2 一般会計	
1. 事務局運営費	
(1) 事務局運営費	……p.2
2. 事業費	
(1) 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）	
①圏域企業の産業連携支援事業	
・圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング……p.3	
・産学・医工連携事業	……p.5
②圏域内企業の海外展開支援事業	
・ロシアへの販路拡大支援事業	……p.6
・海外商談会参加等支援補助金	……p.7
・インドとの経済交流事業	……p.8
・台湾との経済交流事業	……p.10
③山陰いいものマルシェプロジェクト	
・山陰いいものマルシェプロジェクト	……p.11
(2) 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）	
①（一社）圏域観光局への負担金	
・（一社）圏域観光局への負担金	……p.13
(3) 住みたくなる圏域づくり（環境の充実）	
①自然環境の保全・活用事業	
・自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発	……p.14
②安心して暮らすことのできる環境づくり事業	
・防災対策の充実	……p.16
(4) とともに歩む圏域づくり（連携と協働）	
①圏域情報の共有・発信	
・圏域内外のエリアプロモーション	……p.17
②圏域内の連携・交流推進	
・圏域内の連携・交流推進	……p.19

・人材育成の共同化	……p.21
・文化・スポーツ交流促進事業	……p.23
・圏域情報活用推進事業	……p.24
・中海・宍道湖レガッタ開催支援事業	……p.25
・移住・定住促進事業	……p.26

3 特別会計 環日本海貨客船航路就航支援補助金

(1) 環日本海貨客船航路就航支援

①定期貨客船航路就航支援補助金	……p.29
-----------------	--------

参 考 令和3年度 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告

(1) 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局令和3年度決算額一覧表	……p.31
-------------------------------------	--------

(2) 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告

①外国人誘客対策事業	
・クルーズ客船寄港時のおもてなし	……p.32
・圏域インバウンドプロモーション	……p.33
②国内誘客対策事業	
・国内広域観光プロモーション	……p.34
・人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業	……p.35
・圏域観光再生支援プログラム	……p.36
③圏域観光の魅力アップ事業	
・圏域周遊促進及び受入環境充実	……p.37
④中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費	
・中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営	……p.38

1 事業実施概要

令和3年度は、中海・宍道湖・大山圏域市長会設立から10年が経過する節目の年であり、新型コロナウイルス感染症拡大による生活様式の変化など、様々な要因により大きく変化する社会情勢に的確に対応し、今後も継続して圏域の活力を維持していくため、新たに圏域が進むべき指針を検討し、中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンを改訂したところである。

一方、新型コロナウイルス感染症の一時的な沈静化により、市民生活や社会、経済状況が落ち着きを取り戻す局面もあったが、度重なる感染拡大の影響により、社会生活や経済活動は多くの制限を受けざるを得ない状況が続いた。このため、当市長会においても感染状況を注視し、当初事業計画を変更、弾力的な予算の見直しや組み替えなど柔軟な事業運営を行った。感染防止対策を徹底するとともに、オンラインの活用等により可能な範囲で、圏域内企業の産業連携支援、産学医工連携、インド、台湾との経済交流、東京大学地域未来社会連携研究機構の連携研究等の事業を実施し、これまで推進してきた取組みが途切れることなく、効果的な事業展開を図ったところである。

○一般会計 17事業 94,188千円 (※事務局運営費を除く)

○特別会計 1事業 0円

事業検証については、中海・宍道湖・大山圏域市長会総合戦略推進委員会で行う予定。

2 一般会計

1. 事務局運営費

(1) 事務局運営費

01 事務局運営費

事業名等	事務局運営費			
事業概要		予算現額	12,700,000 円	
中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局の運営にかかる経費。 圏域市長会の円滑な運営を図るため、市長会規約第11条第1項の規定に基づき、事務局を置く。		決算額	12,363,199 円	
	財源	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
	内訳	負担金	一般	3,397,492 円
			特定	8,965,707 円
	前年度決算額	12,055,670 円		

1. 事業内容

(1) 各種会議の開催

総会	4回	7/30 (書面) (ブロック経済協議会との意見交換会は10/11) 2/4 (書面)・3/12・3/25 (書面)
副市長会	1回	10/26
幹事会	3回	7/27・11/18・1/20
企画担当課長会	5回	4/26・7/9・9/30・11/10・1/12
産業振興担当課長会	2回	4/22・10/1
観光振興担当課長会	2回	5/21・10/27
環境保全担当課長会	2回	4/21・10/6
総合戦略推進委員会	1回	8/24

(2) 事務局の運営

2. 経費内訳

	現計予算額	R3 決算
・会議費	420,000 円	375,969 円
・旅費	300,000 円	0 円
・需用費	1,400,000 円	793,649 円
・役務費	500,000 円	526,189 円
・委託料	40,000 円	22,589 円
・使用料及び賃借料	840,000 円	1,302,786 円
・備品購入費	200,000 円	376,310 円
・人件費負担金①	5,000,000 円	4,965,707 円
・人件費負担金②	4,000,000 円	4,000,000 円
計	12,700,000 円	12,363,199 円

○令和3年度人件費負担金① 一般第4期

・R3 決算 4,772,293 円 R2 返還金を 193,414 円支出。

	当初予算	R3 決算	R2 返還金	支出計
米子市	1,250,000	1,193,073	48,354	1,241,427
松江市	1,250,000	1,193,073	48,354	1,241,427
出雲市	1,250,000	1,193,073	48,354	1,241,427
境港市	625,000	596,537	24,176	620,713
安来市	625,000	596,537	24,176	620,713
合計	5,000,000	4,772,293	193,414	4,965,707

○令和3年度人件費負担金② 一般第4期

・境港市から4,000,000円を負担金として徴収

2. 事業費

(1) 活力にあふれる圏域づくり (産業振興)

02 事業費

事業項目	①圏域企業の産業連携支援事業		
事業名	圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング		
事業概要	予 算 現 額		8,500,000 円
	決 算 額		5,170,000 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補 助 金	0 円
		負 担 金	一般
特定	5,000,000 円		
前年度決算額		4,300,000 円	

1. 事業内容

圏域内企業の取引拡大や連携促進等による圏域経済の活性化を図るため、圏域内の商工団体と行政で構成する「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」（事務局：まつえ産業支援センター）へ業務委託し、ビジネスマッチング商談会の開催等を行った。

(1) 圏域内企業情報データベースの情報発信

圏域内企業間の産業連携や圏域外企業との新たな事業連携を促進するため、「圏域ものづくり.net」の掲載企業情報を充実させ、圏域内外企業へ情報発信を行った。

「圏域ものづくり.net」実績

年度	H29	H30	R1	R2	R3
登録企業数 (社)	542	568	579	601	695
全アクセス数 (件)	460,301	476,004	541,952	525,415	619,575
月平均アクセス数 (件)	38,358	39,667	45,162	43,784	51,631

(2) 圏域内企業のビジネスマッチングの開催

圏域内企業の販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携の促進等を図るため、10月28日(木)、ビジネスマッチング商談会を開催した。

新型コロナウイルス感染症のまん延により、昨年度に引き続き、当初計画していた対面式商談会ではなく、オンラインによる商談会(web会議サービス Zoom)を開催した。



「ビジネスマッチング商談会」実績

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
参加企業（社）	236	301	285	291	163	163
商談件数（件）	456	711	651	663	318	263
開催地	松江市	米子市	安来市	出雲市	オンライン	

※R1までの数値：対面式商談会、R2, R3 数値：オンライン商談会

第2期地方版総合戦略の数値目標：R2～R6 商談件数累計 3,400件（680件/年あたり）

発注企業招致状況

年度	R1年度		令和2年度		令和3年度	
会場	出雲（平田）		オンライン		オンライン	
	エントリー	商談参加	エントリー	商談参加	エントリー	商談参加
機械金属系	46 (27)	34 (16)	30 (13)	25 (12)	22 (6)	15 (6)
飲料・食料品系	61 (22)	56 (19)	31 (11)	27 (8)	41 (9)	28 (6)
合計	107 (49)	90 (35)	61 (24)	52 (20)	63 (15)	43 (12)

※（）内は新規

エリア別商談件数

年度	R1年度		令和2年度		令和3年度	
会場	出雲（平田）		オンライン		オンライン	
圏域外⇔圏域内	490件 (73.9%)		225件 (70.7件)		182件 (69.2%)	
圏域内⇔圏域内	72件 (10.9%)		32件 (10.1%)		47件 (17.9%)	
圏域外⇔圏域外	101件 (15.2%)		61件 (19.2%)		34件 (12.9%)	
合計	663件		318件		263件	

※圏域外 受注連携企業（山陰）

2. 経費内訳

中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会への委託料 5,170,000円

事業項目	①圏域企業の産業連携支援事業			
事業名	産学・医工連携事業			
事業概要	予 算 現 額	11,070,000 円		
圏域内の商工団体、自治体、国立大学、国立工業高等専門学校、研究機関等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」と連携し、圏域内企業の産学・医工連携支援を行う。	決 算 額	9,876,761 円		
	財 源	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
	内 訳	負 担 金	一般	9,876,761 円
			特定	0 円
前年度決算額	15,486,928 円			

1. 事業内容

圏域の自治体、事業者、病院、国立大学等の産官学で行われている医工連携の取組促進により、産業振興、雇用創出等を図るため、圏域内の商工団体、自治体、国立大学等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」（事務局：米子市経済戦略課）へ業務委託し、産学・医工連携の取組における各種ニーズとシーズのマッチング機会の提供（入口支援）、研究への指導・助言等（開発支援）及び製品化された器具の販路開拓（出口支援）等、各段階における支援を行った。

(1) 医療・福祉・介護機器の開発支援

- ニーズ案件の試作・実用化・臨床化支援
- 各種相談支援（マッチング支援、開発支援、販路開拓支援）

〔医療機器等の新製品開発（実用化）〕

- 歯科医師向け歯周ポケット深さ測定器「ピーケンサ」の開発
圏域外企業からの相談を受けた協議会が、圏域内企業と社会福祉施設と連携し、測定時の患者の衝撃緩和及び操作性の向上を図った使い捨ての歯周ポケット深さ測定器「ピーケンサ」を共同開発した。
- 不織布マスク用装着補助具「マスクサポート」の販売支援
医工連携での商品開発をビジネスとして成立させることを目的として、「マスクサポート」の販売支援に取り組んだ。



(2) ニーズの調査、検討及び案件化

- 前年度の圏域内医療機関等のニーズ案件に関する調査及び検討（3病院）
- 実現精度の高いニーズの具現化

(3) 普及広報活動

- ホームページ、パンフレット、圏域企業ガイドブック等による情報発信
- ホームページ上に賛助会員相互の情報交換の場「賛助会員の広場」を開設
- 「医工連携推進協議会通信」の創刊（年4回発行予定）
- 医工福連携の取組みの推進（福祉現場からのニーズ聴取・福祉施設の賛助会員加入）
- ※賛助会員数：84社（3月末現在・令和3年度において6増1減）

2. 経費内訳

中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会への委託料 9,886,801 円

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	ロシアへの販路拡大支援事業			
事業概要	予 算 現 額	— 円		
境港と繋がる定期貨客船航路の運航再開も見据え、ロシアにおける圏域企業のビジネス展開や販路拡大を支援し、圏域のゲートウェイ機能の促進を図る。	決 算 額	— 円		
	財 源	国・県支出金	— 円	
		補 助 金	— 円	
	内 訳	負 担 金	一般	— 円
			特定	— 円
前年度決算額	— 円			

1. 事業内容

鳥取県事業（鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」）等を活用し、ロシアへのビジネス展開を支援する事業であったが、関連企画の実施は無かった。

[参考]

鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」（H29.3月設立）

○構成団体

国、国団体、経済団体、金融機関、大学、文化・スポーツ団体、観光関連団体・企業、県内自治体、鳥取県 ※中海・宍道湖・大山圏域市長会も参画している。

○事務局

鳥取県商工労働部通商物流課

○取組内容

- ・日露双方の企業・貿易情報の共有とビジネスマッチングの推進
- ・勉強会、セミナー等の開催
- ・有望分野のビジネス案件の重点推進
- ・見本市等への参加、フォーラムの実施、ミッション派遣
- ・日露経済協力プランの推進や県外企業の日露ビジネスの需要の取込み
- ・国レベルでの課題解決の要望、事業提案及び関する国等の事業の取込み
- ・観光交流の推進
- ・文化・スポーツ・青少年交流の推進

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	海外商談会参加等支援事業			
事業概要	予算現額	0 円		
海外で行われる商談会等に参加する圏域内の企業へ補助金交付等を行い、海外展開やインバウンドの推進に繋がる取組を支援する。	決算額	0 円		
	財源	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
	内訳	負担金	一般	0 円
			特定	0 円
前年度決算額	0 円			

1. 事業内容

圏域内企業における外国人観光客の誘致及び自社製品・技術等の海外への販路開拓に向けた海外商談会参加等の自主的な取組を支援するために補助金を交付する事業であったが、新型コロナウイルス感染症のまん延等がある中、補助金の交付申請は無かった。

また、デジタル活用による海外販路開拓支援として、中国向け越境 EC（電子商取引）サービス等の圏域事業者向け説明会を開催した。

(1) 海外商談会参加等支援補助金

- ・実施期間 令和3年5月1日～令和4年3月31日
- ・募集期間 令和3年5月1日～令和4年1月31日
- ・補助対象者 圏域5市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体
- ・補助金額 原則、補助対象経費の1/2 補助上限額 10万円
ただし、以下の場合は、①～②に応じた補助率、補助上限額。
①ロシア、韓国、中国、インド及び台湾での商談会等に参加する場合
補助対象経費の2/3 補助上限額 15万円
②前年度以前（H24～）に補助金の交付を受けている場合
補助対象経費の1/4 補助上限額 10万円
- ・申請回数限度 同一の申請者は、同一年度に1回かつ通算3回を申請限度とする。
ただし、ロシア、韓国、中国、インド及び台湾での商談会等参加の場合は、通算4回目の申請を認める。

〔補助金交付実績（参考）〕

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
補助事業者数	30	18	18	5	13	15
補助金額（千円）	3,455	3,285	2,898	663	1,818	2,834
年度	H30	R1	R2	R3		
補助事業者数	5	16	0	0		
補助金額（千円）	308	1,364	0	0		

(2) 越境 EC サービス説明会の開催

（株）ACD（ANA 関連会社）が展開する中国越境 EC サービス「全日空^{ハイタオ}海淘」等に関する事業者向け説明会を開催した。

※山陰いいものマルシェ実行委員会主催で開催（3月30日 オンライン開催）

2. 経費内訳

- ・海外商談会参加等支援補助金 0 円
- ・越境 EC サービス説明会開催経費 0 円

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業		
事業名	インドとの経済交流事業		
事業概要	予算現額	5,700,000 円	
インド・ケララ州との経済交流拡大を目指す覚書(MOU)の締結に基づき、企業進出やビジネスマッチング等の実現のため、密接な協力体制の構築支援、情報交換、視察交流等を行う。	決算額	4,195,771 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
	特定		0 円
前年度決算額	5,536,980 円		

1. 事業内容

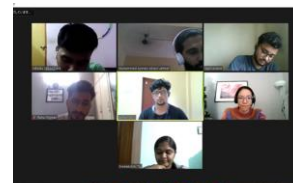
平成27年にインド・ケララ州政府と締結した経済交流を拡大する覚書の具体化を図るため、圏域とインド・ケララ州を繋ぐグローバルな視野を持つIT等人材の圏域内企業への就職、日印企業連携推進を目的に、圏域の産業・商工団体、島根大学、自治体等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域インド人材受入・企業連携事業実行委員会」(事務局：まつえ産業支援センター)へ業務委託し、ケララ州の学生等に対する日本語教育支援、圏域企業説明会、ビジネスフォーラム等を行った。

当初計画していたラジャギリ工業技術大学から島根大学への交換留学生4名、ケララ州大学生6名のインターンシップの受入、圏域内企業のケララ州での商談会展展については、新型コロナウイルス感染症のまん延により中止となった。

なお、島根大学への交換留学生4名については、11月からの入国制限緩和に伴う島根大学の留学生受入審査申請結果状況等に応じて実施予定としていたが、年度内での受入実施には至らなかった。

(1) インド人材向けオンライン日本語教育の実施

インターンシップ参加候補者向けオンライン日本語教育の実施



(2) 第2回ケララ・山陰 オンラインビジネスフォーラムの開催

圏域とケララ州の更なる経済連携及び両国企業のビジネス機会創出を目的に、昨年度に続き、第2回オンラインビジネスフォーラムを開催した。

今回はケララ州企業が自社製品や事業を紹介し、日本側とのビジネス連携の可能性を探った。

- ・開催日 : 11月16日(火)
- ・参加者数 : 両国の行政、企業関係者約100人
- ・主催・共催 : 圏域市長会、ケララ州、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会
印日商工会ケララ(INJACK)、山陰インド協会、
ジェトロ(松江・鳥取・チェンナイ)



(3) インターンシップ圏域受入企業オンライン説明会及び個別説明会

インターンシップ事業の代替として、希望する受入企業及びインターンシップ参加候補生を対象に、オンラインで企業説明や個別面談できる場を設け、インド IT 等人材の受入企業への就職の可能性を探る機会とした。

○圏域内企業説明

圏域内企業 5 社が、動画又は資料により企業情報を提供

開催時期：12 月～1 月

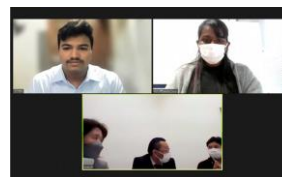
参加者数：10 名

○個別面談

開催日：2 月 16 日（水）

面談企業数：1 社

参加者数：5 名（希望者 10 名のうち、面談企業とのマッチングにより 5 名選定）



2. 経費内訳

中海・宍道湖・大山圏域

インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会への委託費 4,195,771 円

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業		
事業名	台湾との経済交流事業		
事業概要	予 算 現 額		250,000 円
	決 算 額		225,560 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補 助 金	0 円
		負 担 金	一般
	特定		0 円
前年度決算額		331,617 円	

1. 事業内容

圏域内企業の台湾への海外展開支援として、「T J コネクトフェア 2021」（日台総合産業マッチング大会）において、圏域内企業と台湾企業とのビジネスマッチング相談会をオンラインで開催した。

当初計画していた圏域と台北市との経済等交流促進を目的とした覚書締結等については、新型コロナウイルス感染症のまん延等により、前年に引き続き延期となった。

○「T J コネクトフェア 2021」（日台総合産業マッチング大会）

圏域内企業と台湾企業とのビジネスマッチング相談会（オンライン商談会）

- ・開催日：10月21日（木）
- ・相談会場：テクノアークしまね（圏域内企業）、T J コネクトフェア会場（台湾企業）
- ・圏域内参加企業数：4社（事前にマッチングした台湾企業各1社と各相談実施）



2. 経費内訳

T J コネクトフェアビジネスマッチング相談会開催経費 225,560 円

事業項目	③山陰いいものマルシェプロジェクト			
事業名	山陰いいものマルシェプロジェクト			
事業概要	予 算 現 額		7,500,000 円	
	決 算 額		2,754,524 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
		負 担 金	一般	2,754,524 円
			特定	0 円
前年度決算額		509,487 円		

1. 事業内容

JR西日本、山陰中央新報社、ジェトロ、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、圏域市長会の5者で構成する山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会（事務局：松江商工会議所）と協定を締結し、山陰いいものマルシェ及びマッチング商談会を開催する事業計画であったが、圏域内マルシェ in 境港については、新型コロナウイルス感染症のまん延により開催中止となった。

(1) 圏域内でのマルシェ及び商談会の開催

○山陰いいものマルシェ in 境港

- ・開催日：3月20日（日）
- ・会場：境夢みなとターミナル（境港市竹内団地）周辺
- ※出店者募集後、新型コロナウイルス感染症のまん延により開催中止

○山陰いいものマルシェ マッチング商談会

- ・開催日：3月23日（水）
- ・会場：松江テルサ
- ・参加事業者：29社（うち圏域内事業者20社）
- 招致バイヤー：9社



(2) 海外展開事業

○海外向け・国内向け EC サービス研修会

- ・内容：中国越境ECサービス「全日空^{ヘイタオ}海淘」（株ACD（ANA関連会社））等
- ・開催日：3月30日（水）（オンライン開催）
- ・参加事業者：9社（山陰いいものマルシェプロジェクト出店登録事業者、EC事業に興味がある島根・鳥取県内事業者）



(3) 協力事業

○山陰いいものマルシェ in 金沢クルーズ“旅”マルシェ（金沢港）

- ・開催日：10月9日（土）、10日（日）
- ・主催：クルーズ“旅”マルシェ2021実行委員会
- ・出店者数：9社（うち圏域内企業7社）
- ・売上額：40,570円（2日間合計）



○山陰いいものプレミアムマルシェ in イオン松江SC

- ・開催日：10月30日（土）、31日（日）
- ・主催：イオン松江ショッピングセンター
- ・出店者数：30日/8社（うち圏域内企業7社）、31日/7社（うち圏域内企業6社）
- ・売上額：327,380円（30日）、261,160円（31日） ※各日7社からの回答



2. 経費内訳

山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会への負担金 2,754,524円

(2) 訪ねてみたい圏域づくり (観光振興)

02 事業費

事業項目	① (一社) 圏域観光局への負担金		
事業名	(一社) 圏域観光局への負担金		
事業概要	予 算 現 額		57,385,000 円
一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づき、観光事業に対する負担金を支出する。	決 算 額		57,385,000 円
	財 源	国・県支出金	円
		補助金	円
	内 訳	負 担 金 一般	50,917,000 円
		特定	6,468,000 円
前年度決算額		59,976,000 円	
<p>1. 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考「令和3年度中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告 (P31~P38)」のとおり <p>2. 経費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考「令和3年度中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告 (P31~P38)」のとおり 			

(3) 住みたくなる圏域づくり (環境の充実)

02 事業費

事業項目	①自然環境の保全・活用事業		
事業名	自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発		
事業概要	予 算 現 額	320,000 円	
圏域の次代を担う子どもたちへ、自然環境に関する学習機会の提供等を行い、圏域の自然の豊かさや環境保全について普及啓発を図る。	決 算 額	311,457 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補 助 金	0 円
		負 担 金	一般
	特定		0 円
前年度決算額	895,400 円		

1. 事業内容

ラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖をはじめとする圏域の豊かな自然や環境について、圏域の子どもたちへ体験を通して学習できる機会提供等を行い、圏域の自然環境の豊かさや環境保全に関する普及啓発を行った。

(1) 子ども探検スクールの開催

○冬季企画 (宍道湖と中海の水鳥観察会) 全3コース

①12月18日(土)午前 出雲会場(宍道湖エリア)コース

会場:宍道湖グリーンパーク

14人(6家族)参加 ※申込受付人数38人/定員20人、参加決定20人

②12月18日(土)午後 出雲会場(宍道湖エリア)コース

会場:宍道湖グリーンパーク

16人(8家族)参加 ※申込受付人数44人/定員20人、参加決定20人

③12月19日(日)午前 米子会場(中海エリア)コース

会場:米子水鳥公園ネイチャーセンター、米子港

10人(4家族)参加 ※申込受付人数32人/定員20人、参加決定20人



○夏季企画（再生可能エネルギー学習、環境保全学習）全4コース

各コースで多数の参加申込があったが、開催直前の新型コロナウイルス感染症のまん延により開催中止となった。

①7月30日（金）境港会場コース 会場：三光(株)潮見工場

「え～！ごみから発電？おいしい魚を養殖？ごみ処理工場のリサイクルエネルギーを体験しよう！」

申込受付人数 77 人（定員 20 人）

②8月1日（日）米子会場コース 会場：米子市クリーンセンター、ローカルエナジー(株)

「地球に優しい電気、クリーンエネルギーを体験しよう！」

申込受付人数 29 人（定員 20 人）

③8月8日（日）安来会場コース 会場：伯太発電所、安来市役所伯太庁舎

「びっくり！水が電気に？？？発電の仕組み体験！水力発電所へ潜入だー！」

申込受付人数 127 人（定員 20 人）

④8月21日（土）松江会場コース 会場：マリンゲートしまね、大芦海岸

「海で起きているプラスチックごみの大事件！

海の生き物になったつもりで模擬体験してみよう！」

申込受付人数 82 人（定員 20 人）



(2) 自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信（各関係団体と連携した取組）

○第6回中海バイク&ラン（主催：島根県・鳥取県、共催：圏域市長会）

- ・開催期間：10月30日（土）～11月14日（日）
- ・参加者数：85人（参加エントリー者数：124人/定員150人）



2. 経費内訳

子ども探検スクール開催経費

311,457円

事業項目	②安心して暮らすことのできる環境づくり事業			
事業名	防災対策の充実			
事業概要	予 算 現 額	500,000 円		
安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取組を行う。	決 算 額	472,750 円		
	財 源	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
	内 訳	負 担 金	一般	472,750 円
			特定	0 円
前年度決算額	485,100 円			

1. 事業内容

中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会の開催及び防災資機材等の購入（連絡協議会幹事市：松江市）

(1) 構成市町村の防災担当課による連絡協議会開催

○連絡協議会の開催（11月、1月、3月書面開催）

○通信訓練の実施（2月10日（木）9:00～10:30 会場：各自治体執務室）

※2月10日に開催予定していた図上訓練（会場：松江市役所防災センター）は、新型コロナウイルス感染症のまん延により中止。

(2) 各市間で融通し使用する防災資機材の購入

○避難所用パーテーション 28張

・米子市、松江市、出雲市 各8張

・安来市、境港市 各2張



[参考]

中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会

中海・宍道湖・大山圏域災害時相互応援協定（H25年締結）に基づき設置された協議会
構成市町村：5市及び鳥取県西部町村会

2. 経費内訳

防災資機材購入経費 462,000 円

図上訓練教材（避難行動訓練教材 EVAG）購入経費 10,750 円

事業項目	①圏域情報の共有・発信		
事業名	圏域内外へのエリアプロモーション		
事業概要	予 算 現 額	6,600,000 円	
圏域振興ビジョンに示す圏域の将来像、ビジョンや市長会の活動の広報周知に努めるとともに、圏域内での一体感醸成、圏域外における認知度向上のための情報発信を行う。	決 算 額	6,227,980 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補 助 金	0 円
		負 担 金	一般
	特定		0 円
前年度決算額	287,980 円		

1. 事業内容

圏域振興ビジョンの策定から10年を迎える節目にあたり、平成24年(圏域振興ビジョン策定)から令和3年度までの取組の成果や課題を整理するとともに、さらには新たに圏域が進むべき方向性を盛り込むために圏域振興ビジョン改訂を行った。また、ホームページ等を活用し圏域内外への広報周知を実施した。

(1) 中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョン改訂

近年、人口減少の加速、IoT、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータといった社会の在り方に影響を及ぼす新たな技術の進展、Society 5.0の提唱、新型コロナウイルス感染症拡大による生活様式の変化など、様々な要因より、大きく社会情勢が変化している。このような情勢の変化に的確に対応し、今後も継続して圏域の活力を維持していくため、新たな圏域が進むべき指針を改めて検討し、中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンを改訂した。なお、改訂にあたっては、ワーキンググループを開催し改訂内容の協議・検討を行い、その内容を企画担当課長会、幹事会、副市長会及びブロック経済協議会との意見交換会において協議・検討を行った。

○改訂ワーキンググループの開催 7/2(金) 9/24(金) 11/1(月) 12/27(月)

新たな時代へ大きく飛躍していくための、めざすべき将来像

水と緑がつながる 人がつながる 神話の国から 未来につなげる
～あたかも一つのまち 住みたくなる中海・宍道湖・大山圏域～

新たなステージは 人口減少を克服し、新たな圏域の元気を創造!!

将来像を実現するための基本方向及び基本目標

しごと創造 ～仕事づくりで圏域を元気に～
基本方向1 活力にあふれる圏域づくり **産業振興**
【基本目標】
1. 力強い産業圏域の形成
2. 地産外需による稼ぐ圏域の実現
3. 東アジアに向けたゲートウェイ機能の向上と活用

ふるさと創造 ～地域資源を活かして圏域を元気に～
基本方向3 次代につなぐ圏域づくり **保全・継承と活用**
【基本目標】
1. 自然環境の保全と活用
2. 多様な資源の継承と活用
3. グリーン社会の実現

賑わい創造 ～観光客を増やして圏域を元気に～
基本方向2 訪ねてみたい圏域づくり **観光振興**
【基本目標】
1. 観光圏域づくりの推進
2. 圏域観光の魅力向上
3. インバウンド観光の促進

拠点創造 ～ネットワークづくりで圏域を元気に～
基本方向4 ともに歩む圏域づくり **連携と協働**
【基本目標】
1. 未来を創造する圏域8のルート等の整備促進
2. 圏域への移住・定住の促進
3. デジタル時代を支える基盤整備と人材育成
4. 安心して暮らすことのできる圏域の実現

(2) 中海・宍道湖・大山圏域市長会発足 10 周年記念事業

平成 24 年に発足した圏域市長会の 10 周年を節目として、過去の取組みを振り返るとともに、圏域の総合的・一体的な発展を一層推進することを目的に記念事業として、新聞記事を活用し、改訂する振興ビジョンの内容及び、市長会事業に関する特集記事を掲載し、圏域内への情報発信を行った。

- ・新聞社 新日本海新聞社 山陰中央新報社
- ・掲載日 4月2日（土）
- ・掲載スペース 1面（全24段カラー）
- ・掲載内容 市長コメント（300字程度）、写真、振興ビジョンの改訂内容など



山陰中央新報



日本海新聞

- ・発行部数：①山陰中央新報社

173,000部（うち圏域内112,000部）

※松江市56,000部、安来市9,000部、出雲市39,000部

米子市5,300部、境港市2,200部、大山圏域430部

- ②日本海新聞社

143,385部（うち圏域内54,167部）

※米子市33,601部、境港市8,648部、

松江市336部、安来市301部、大山圏域11,281部

(3) ホームページ等を活用した圏域内外への広報周知

ホームページ管理業務委託

2. 経費内訳

・中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョン改訂	2,310,000円
・中海・宍道湖・大山圏域市長会発足10周年記念事業	3,630,000円
・ホームページ運用管理委託料	287,980円
・合計	6,227,980円

事業項目	②圏域内の連携・交流推進		
事業名	圏域内の連携・交流推進		
事業概要	予 算 現 額		3,044,000 円
圏域内の行政間や民間団体間、行政と民間団体等の更なる連携と交流を図る。	決 算 額		2,929,853 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
	特定		0 円
前年度決算額		3,172,125 円	

1. 事業内容

圏域で一体となって推進すべき事業の精査、検討を行い、各市、各団体間での連携・交流推進を図るとともに、特定の課題に対して各市間及び各団体との意見交換の場を設ける等、連携を促進するための仕掛けづくりを行った。



(1) 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進

○10/11 合同勉強会

講師：東京大学地域未来社会連携研究機構 機構長 松原宏 氏

演題：「スマートかつ強靱な地域経済社会と中海・宍道湖・大山圏域の課題」

○3/12 合同勉強会

演題：地域発展の源は「旅行」にあり ～持続可能な地域発展に必要なこと～

講師：クラブツーリズム株式会社 地域共創事業部 部長 樋山智彦氏

(2) 圏域内インフラ（中海架橋、米子道4車線化、境港出雲道路、境港米子道路、境港整備、新幹線整備など）の整備促進に関する要望活動等、圏域一体で取り組む事業の推進・強化

○「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」令和3年度役員会開催（5/19）

○中国横断新幹線（伯備新幹線）整備に係る国土交通省に対する要望活動

・郵送による要望活動（6月）

・国土交通省 鉄道局次長への要望活動（1/12）

○松江駅、出雲駅、米子駅、安来駅、境港駅の周辺施設等に新幹線PR看板を設置。



新幹線看板



鉄道局での要望活動

○境港整備に係る国交省、鳥取県・島根県選出国會議員に対する要望活動

・郵送による要望活動（9月）

○中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 IC～境港間）整備促進総決起大会

・新型コロナウイルス感染症の影響により総決起大会は中止となり、オンラインにより国土交通省及び鳥取県・島根県選出国會議員に対する要望活動を実施（2月）

(3)全国街道交流会議第13回全国大会山陰大会

中海・宍道湖・大山圏域市長会発足10周年記念事業として、全国街道交流会議第13回全国大会「山陰大会」を開催し本大会のほか、観光文化事業として、小泉八雲を共通テーマとしたバスツアーを開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度に延期。

※観光文化事業として、下記のバスツアーを計画し、参加者の募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

・開催日時：

【第1回】令和3年7月22日（木・祝）

【第2回】令和3年7月23日（金・祝）

【第3回】令和3年8月7日（土）

【第4回】令和3年8月8日（日）

・講師：小泉凡先生（小泉八雲記念館館長）

桐山尚子先生（KiriNDesign代表、
SDG s de 地方創生公認ファシリテーター）

・参加費：第1回1,000円/人

第2・3・4回各2,000円/人

（昼食代、バス代、体験料、ガイド代、保険料込み）

・対象：出雲市、安来市、松江市、米子市、境港市在住の小学校4から6年生とその保護者

・定員：各回10組20名程度（児童とその保護者）



2. 経費内訳

・意見交換会、合同勉強会の開催経費	479,853円
・圏域内連携事業推進経費（要望活動旅費等）	0円
・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議負担金	2,450,000円
・全国街道交流会議第13回全国大会開催負担金	0円
・合計	2,929,853円

事業項目	② 圏域内の連携・交流推進		
事業名	人材育成の共同化		
事業概要	予算現額	2,000,000 円	
圏域内における人的交流の推進による一体感の醸成を図り、圏域を担う人材育成に向けた取組を行う。	決算額	1,325,663 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
	特定		0 円
前年度決算額	942,694 円		

1. 事業内容

中海・宍道湖・大山圏域の未来を切り開く推進力となる人材育成を目的に、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会と共同で研修会を開催し、受講者が多彩な分野の講師による経験・理論を学んで視野を広げるとともに、企画力・想像力を磨く機会を提供した。

その他、新たな圏域の人材育成の取組として、SDGsの普及支援、発明楽コンテストの開催支援を行った。

(1) 官民が連携した人材育成研修の実施

○「山陰まんなか未来創造塾」の開催

[第1回] 2月3日(木) 18:30~20:00

- ・講師：伊藤聡子氏
- ・演題：コロナをチャンスに！地域から輝く日本へ
- ・受講者：27人（うち行政職員17人）

[第2回] 2月8日(火) 18:30~20:00

- ・講師：永濱利廣氏
- ・演題：アフターコロナを見据えた経済展望
- ・受講者：28人（うち行政職員15人）

※新型コロナウイルス感染症のまん延により、受講生募集案内後、オンライン形式に変更して開催。



(2) 圏域未来人材の育成

○「SDGs 入門セミナー」の開催

- ・日時：1月19日(水) 15:00~16:30 オンラインによる開催
- ・講師：井上光悦氏
- ・演題：持続可能な開発目標 (SDGs) の基礎を学ぼう
- ・受講者数：37人（企業・商工団体：10人、行政：27人）



○発明楽普及支援事業の実施

圏域の高校生を中心とした次世代の産業人材の育成及び技術・製品開発能力の向上に向けた機運醸成を目的とした発明楽コンテストに対し、支援を行った。

- ・ 名 称 第3回発明楽コンテスト（高校生による発明案プレゼンテーションコンテスト）
- ・ 開催日程 令和4年3月26日（土）
- ・ 開催時間 13：00～14：45
- ・ 開催場所 BSS ふれあいスタジオ、参加高校、コメンテーターをインターネット中継
- ・ 主 催 発明楽コンテスト実行委員会（鳥取大学医学部附属病院、BSS 山陰放送）
- ・ 応募期間 令和3年11月15日（月）～令和4年1月17日（月）
- ・ 応募資格 高等学校に在籍する生徒 1～5名（複数案応募可）
- ・ 募集内容 「地方の自然豊かな環境下に於けるDX（デジタルトランスフォーメーション）のベストミックスアイデア」
「困っている課題を解決し、まわりの人が笑顔や幸福（Well-Being）になれるアイデア」
- ・ 広報活動 テレビ 告知期間 令和3年12月～令和4年3月
SNS Twitter 令和4年3月21日（月）～26日（土）
Web 掲載期間 令和3年11月15日（月）～令和4年3月31日（木）
- ・ 応募総数（チーム総数）
鳥取県4校（18チーム）、島根県2校（3チーム）
計6校（21チーム） 総勢66名の高校生参加
このうち圏域から、4校（米子東高校・境高校・松江農林高校・出雲高校）が参加



2. 経費内訳

・ 山陰まんなか未来創造塾実行委員会への負担金	795,663 円
・ SDG s 普及支援事業	30,000 円
・ 発明楽普及支援事業	500,000 円
・ 合計	1,325,663 円

事業項目	③ 圏域内の連携と協働			
事業名	文化・スポーツ交流促進事業			
事業概要	予算現額	900,000 円		
圏域内の歴史資源、伝統芸能、スポーツ、芸術など、相互交流を推進することにより、魅力ある圏域を知り、心豊かな生活環境を創出する。	決算額	190,000 円		
	財源	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
	内訳	負担金	一般	190,000 円
			特定	0 円
前年度決算額	300,000 円			

1. 事業内容

圏域内の文化・スポーツ交流促進事業の実施及び支援等。

(1) スポーツを通じた圏域交流イベントの開催

小学生を対象に、学校区や自治体の枠を越えた若い世代からの交流促進を目的とした、圏域のプロスポーツチーム等とのイベント「～トップアスリートとあそぼう～第3回キッズふれあいスポーツフェスティバル」を下記内容で開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止した。

- ・日 時 2月11日（金・祝）10：00～12：00
- ・会 場 松江市総合体育館（サブアリーナ）
- ・参加チーム ガイナーレ鳥取、ディオッサ出雲、島根スサノオマジック
- ・参加者等 定員100人に対し218人が応募。

(2) 文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援

圏域住民の交流促進等を目的とする主体的な活動を支援する「文化・スポーツ交流促進事業補助金」を交付する計画であったが、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、補助金の交付申請は無かった。

(3) イベント交流事業の開催

各市で開催されるイベントにおける伝統芸能の披露など交流事業の実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、支援対象となるイベントが開催されなかった。

2. 経費内訳

- | | |
|------------------------|-----------|
| ・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催 | 190,000 円 |
| ・文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援 | 0 円 |
| ・イベント交流事業の開催 | 0 円 |
| ・合計 | 190,000 円 |

事業項目	②圏域内の連携・交流推進		
事業名	圏域情報活用推進事業		
事業概要	予 算 現 額	2,500,000 円	
圏域市長会構成市等のあらゆる情報を、 圏域の連携事業に活用する。	決 算 額	2,500,000 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
	特定		0 円
	前年度決算額	0 円	

1. 事業内容

令和2年2月に締結した国立大学法人東京大学地域未来社会連携研究機構との協定に基づき、地域課題政策立案プログラムを推進する。本年度は東京大学地域未来社会連携研究機構の松原機構長による RESAS 研修会を開催した他、「中海・宍道湖・大山圏域における広域連携を通じた人口減少施策」をテーマとして、東京大学地域未来社会連携研究機構に研究を委託した。

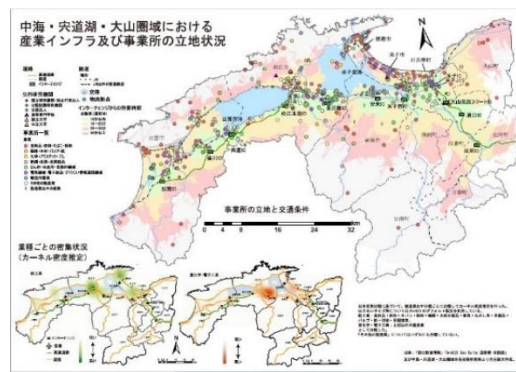
(1) RESAS 研修会

各市担当者が RESAS により人口動態分析及び、産業分析を行い、政策課題と政策提案を盛り込んだ報告を行い、意見交換を行った。

- ・第1回 6月17日(木) 14:00~16:00 (オンラインにより開催)
- ・第2回 9月13日(月) 14:00~16:00 (オンラインにより開催)

(2) 中海・宍道湖・大山圏域における広域連携を通じた人口減少施策に関する研究業務

中海・宍道湖・大山圏域における人口動態とその要因を、各市の政策ヒアリング(2/15開催)及び RESAS 等の各種データを活用して分析するとともに、他の地域の取組などを参照しながら、圏域独自の広域連携を活かし、圏域の一体的な発展に資する新たな人口減少対策等を検討した。



中海・宍道湖・大山圏域における 広域連携を通じた 人口減少施策に関する研究報告書及びマップ

2. 経費内訳

- ・地域課題政策立案プログラム調査委託経費 2,500,000 円
- ・合計 2,500,000 円

事業項目	②圏域内の連携と協働			
事業名	中海・宍道湖レガッタ開催支援事業			
事業概要	予 算 現 額	0 円		
中海・宍道湖の自然環境の保全と賢明利用を推進するため、中海・宍道湖レガッタの開催を支援する。	決 算 額	0 円		
	財 源	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
	内 訳	負 担 金	一般	0 円
			特定	0 円
前年度決算額	0 円			

1. 事業内容

中海・宍道湖を活用したレガッタ大会開催に係る支援

中海・宍道湖レガッタ実行委員会に補助金を交付し、大会の円滑な実施を支援するとともに、自然環境の保全・活用、エコツーリズムといった観光振興及び圏域内外の交流人口の拡大を図る当初計画であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中海・宍道湖レガッタは開催中止となった。

2. 経費内訳

中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金 0 円

事業項目	②圏域内の連携・交流推進			
事業名	移住・定住等促進事業			
事業概要	予 算 現 額	2,030,000 円		
圏域人口60万人の維持に向けた移住・定住等の促進を図る。	決 算 額	622,005 円		
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負担金	一般	583,175 円
			特定	38,830 円
前年度決算額	919,125 円			

1. 事業内容

(1) 婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組

圏域内に居住、通勤通学または定住を考える独身男女を対象に、結婚相手に出会う機会を創出する。未婚化、晩婚化の改善をはかり、圏域における移住・定住の促進につなげる。

今回は、話題性を高めるために、e スポーツを活用したイベントを開催する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。

- ・ 名 称：「初心者大歓迎!! ふよふよ e スポーツ婚活 ～恋の連鎖よ起きろ～」
- ・ 日 時：2月6日（日） 13:30～16:30
- ・ 会 場：境港市 SANKO 夢みなとタワー4階企画展示室（鳥取県境港市竹内団地 255-3）
- ・ 募集定員：男女20名ずつ、合計40名
参加費：2,000円

(2) 首都圏大学との圏域キャンパス事業

東京大学が実施するフィールドスタディ型政策協働プログラム及び体験活動プログラムに参加し、学生に対しオンライン講座とフィールドワークを実施した。

○フィールドスタディ型政策協働プログラム

【オンライン講座】

- ・ 日 時：9月28日（火）14:30～16:00
- ・ 講 師：中海・宍道湖・大山圏域観光局 理事長 矢野正紀氏
- ・ テーマ：うんぱく3城連携誘客について
～地域連携による滞在型ツーリズムをデザイン～
- ・ 日 時：9月29日（水）10:00～11:30
- ・ 講 師：①米子市文化振興課 課長補佐 濱野浩美氏
②一般社団法人米子観光まちづくり公社 理事長 川越博行氏
- ・ テーマ：①「国史跡米子城跡 守り伝えるために -発掘調査成果と今後の整備について-」
②「城下町米子観光の現状と課題 ～観光ガイド事業の現場から～」

- ・日 時：9月30日（木）10：00～11：30
- ・講 師：①松江城調査研究室 室長 飯塚康行氏
松江市史松江城部会長 西尾克己氏
②一般社団法人松江観光協会 事務局長 金山正樹氏
- ・テーマ：①「松江城と城下町」
②「松江城を活用した観光事業」

- ・日 時：9月30日（木）15：00～16：30
- ・講 師：①安来市教育委員会文化財課 課長 水口晶郎氏
②安来市立歴史資料館 館長 平原金造氏
- ・テーマ：①「月山富田城の歴史と概要」（整備等も含め）
②「月山富田城の活用」（地元ボランティア、観光的側面も）

【フィールドワーク】

- ・12月18日（土） 松江歴史館 見学 松江城エリア散策
- ・12月19日（日） 月山富田城跡エリア散策 米子城跡及び下町エリア散策



○体験活動プログラム

【フィールドワーク】

12月11日（土）～12月12日（日）

宍道湖漁協に協力を頂き、宍道湖から得られる恵について体験（漁、資源保護活動、食等）。さらに、地域住民の宍道湖に対する想いに触れるため、漁師等との意見交換を行った。また、松江城や白潟公園等の宍道湖周辺の地域資源の見学を行った。



【オンライン講座】

- ・テーマ「米子水鳥公園の活動と課題 自然と共生する地域をめざして」
- ・講師 米子水鳥公園 館長 神谷要氏
- ・日時 1月14日（金） 10：30～12：00

- ・テーマ「宍道湖・中海の水環境の変遷」
- ・講師 島根県環境政策課 企画幹 狩野好宏氏
- ・日時 1月26日（水） 10：30～12：00

- ・テーマ「ラムサール条約湿地「宍道湖」についての普及啓発への取り組み」
- ・講師 ホシザキグリーン財団 係長 岩西哲氏
- ・日時 1月26日（水） 15：00～16：30
- ※50分～1時間 講師による座学を行い、30分程度の意見交換

(3) 島根大学・若者を共に育てるプロジェクト

各市がフィールドワーク場所の候補地や地域課題を提供し、バスツアーでのフィールドワークを実施した。

○イノベーション創成セミナーⅠ・Ⅱ 63名参加

- ・日時：9月28日（火）
- ・訪問先：①松江市（6名）、②出雲市（18名）、③安来市（10名）
- ・テーマ：①「美保関町のこれまでにない観光資源の活用について」
②「ジオパークのPRについて」
③「商店街のある”この一画”をどうしたら良いかについて」

- ・日時：11月19日（金）
- ・訪問先：①②米子市（19名）、③境港市（10名）
- ・テーマ：①「テレワーク」を利用した職場づくりの提案について
②淀江地区の地域活性化について
③「水木しげるロードを訪れた観光客に直売センターや卸売市場まで足を延ばしてもらおうことについて」

○地域課題解決プロジェクト

- ・日時：1月14日（金）
- ・訪問先：米子市（22名）
- ・テーマ「米子葱でまちづくり」
- ※新型コロナウイルス感染症拡大のため、ネギ農家とオンラインでの意見交換を実施。

2. 経費内訳

・婚活に係る経費	38,830円
・東京大学との圏域キャンパス事業に係る経費	108,060円
・島根大学・若者を共に育てるプロジェクトに係る経費	475,115円
・合計	622,005円

3 特別会計

(1) 環日本海貨客船航路就航支援補助金

02 事業費

事業項目	①環日本海貨客船航路就航支援補助金			
事業名	定期貨客船航路就航支援補助金			
事業概要	予算現額		0 円	
	決算額		0 円	
	財源	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
	内訳	負担金	一般	0 円
			特定	0 円
前年度決算額		0 円		
<p>※運航再開への状況等を踏まえて、必要に応じて、別途補正予算対応を検討する計画であったが、まだ再開の見通しは立っていない状況。</p> <p>1. 事業内容</p> <p>定期貨客船航路就航支援補助金</p> <p>圏域の基幹的な物流、観光インフラであることから、運航会社の自立的な運航への移行を支えながら、航路の定着、安定化を図るため、運航に必要な経費の一部を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 航次につき、運航経費のうち固定経費の 1 / 10 (上限 1,000 千円) $\text{@} 1,000 \text{ 千円} \times 52 \text{ 航次} \times 3 / 10 = 15,600 \text{ 千円}$ ・ 負担割合：鳥取県 7 / 10、市長会 3 / 10 <p>2. 経費内訳</p> <p>環日本海貨客船航路就航支援補助金</p> <p>※今後の運航再開への状況等を踏まえて、必要に応じて別途補正予算対応。</p> <p>※令和元年 11 月からの運休、運航会社の韓国海洋水産部への運航免許返納（令和 2 年 4 月）があり、令和 2 年度以降運航なし。</p> <p>[参考]</p> <p>令和 2 年度当初予算（構成市の負担額）</p> <p>出雲市・松江市・米子市各 2,000 千円 安来市 1,000 千円 境港市 8,600 千円</p>				

参 考

令和 3 年度

一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局

事業実施報告

一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局 令和3年度決算額一覧表

(単位：円)

【歳入】

項	目	当初予算額	補正①	補正②	補正③	現計予算額	決算額	比較	備	考
負担金	負担金	57,385,000	0	0	0	57,385,000	57,385,000	0		
	市長会からの負担金	57,385,000				57,385,000	57,385,000	0		
会費	会費	6,840,000	0	0	0	6,840,000	6,840,000	0		
	正会員	6,570,000				6,570,000	6,570,000	0		
	賛助会員	270,000				270,000	270,000	0		
補助金	補助金	7,575,000	0	△ 1,265,000		6,310,000	5,479,550	△ 830,450	観光庁、国交省	
繰越金	繰越金	1,000,000	5,138,000	0	0	6,138,000	6,138,902	902	前年度繰越金	
諸収入	諸収入	0	0	1,859,000	0	1,859,000	1,864,757	5,757	(株)ヒザビ委託料返還(タイガーエア機内誌記事掲載)	
合	計	72,800,000	5,138,000	594,000	0	78,532,000	77,708,209	△ 823,791		

【歳出】

(単位：円)

項	目	本年度当初予算	補正①	補正②	補正③	現計予算額	決算額	比較	備	考
外国人誘客対策事業	外国人誘客対策事業	15,650,000	0	△ 1,650,000	0	14,000,000	13,070,043	929,957		
	クルーズ船おもてなし事業	3,950,000		△ 1,650,000		2,300,000	2,194,162	105,838		
	インバウンドプロモーション	11,700,000				11,700,000	10,875,881	824,119		
国内誘客対策事業	国内誘客対策事業	32,600,000	0	4,100,000	0	36,700,000	35,652,300	1,047,700		
	国内広域観光プロモーション	12,100,000		4,100,000		16,200,000	16,075,180	124,820		
	人口集積地(築地型)誘客プロモーション	10,500,000				10,500,000	10,007,835	492,165		
	圏域観光再生支援プログラム	10,000,000				10,000,000	9,569,285	430,715		
圏域観光の魅力アップ事業	圏域観光の魅力アップ事業	18,300,000	0	1,800,000	0	20,100,000	17,725,611	2,374,389		
	圏域周遊促進及び受入環境充実	18,300,000		1,800,000		20,100,000	17,725,611	2,374,389		
事務局費	事務局運営費	5,250,000	0	0	0	5,250,000	4,414,488	835,512		
予備費	予備費	1,000,000	5,138,000	△ 3,656,000	0	2,482,000	0	2,482,000		
合	計	72,800,000	5,138,000	594,000	0	78,532,000	70,862,442	7,669,558		
						R3歳入合計	77,708,209			
						R3歳出合計	70,862,442			
						令和4年度繰越	6,845,767			

(2) 令和3年度 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施状況報告

訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

協定に基づき圏域DMOが実施

02 事業費

事業項目	①外国人誘客対策事業		
事業名	クルーズ客船寄港時のおもてなし		
事業概要	予 算 現 額		2,300,000 円
	決 算 額		2,194,162 円
	財 源 内 訳	市長会負担金	1,322,000 円
		DMO会費	円
		補助金	872,050 円
		その他	112 円
	前年度決算額		61,930 円
<p>クルーズ船寄港時、境夢みなとターミナル等にて交流イベントや観光案内を実施するなど、来訪する外国人観光客の周遊促進と満足度アップを図る。</p>			
<p>1. 事業内容</p> <p>(1) 岸壁における観光案内・交流イベントの実施</p> <p>クルーズ客船寄港地である境港市を中心に、市長会5市が協力して、クルーズ客船乗客及びクルー向けの交流イベント（伝統芸能披露、日本文化体験等）や観光案内を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度 当初計画20回→寄港実績2回（4/16、10/31）お見送りイベント実施 ・10/9～10/10 金沢クルーズ“旅” マルシェへの出展（金沢市：境港管理組合と共同出展） <p>(2) 外国語観光案内業務及びボランティアの募集登録・管理</p> <p>外国語による観光案内ができる通訳ボランティアの募集・登録を行い、ボランティアによる観光案内業務を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中海・宍道湖観光協会会議に委託 ※対応可能言語；英語、韓国語、中国語、その他 ・R3年度 外国船 当初計画5回→寄港実績なし <p>(3) 圏域周遊及び旅行消費拡大の取組</p> <p>○コロナ感染症対策をとった受け入れ環境整備及びFIT向け圏域周遊ツアー等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船の観光業関係者等を招聘したファムツアー 【国土交通省補助 補助率1/2】 <p>当初計画：クルーズ寄港時に実施（3回）</p> <p>変更：旅行関係者、在日外国人等を対象として実施（2回） 1/13 実施</p> <p>実績：1,744,100 円（補助金1/2：872,050 円）</p>			
<p>2. 経費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内・交流イベントの実施に係る経費 449,292 円 ・観光案内ボランティア業務に係る経費 0 円 ・コロナ感染症対策、モニターツアー企画実施 1,744,870 円 <p>計 2,194,162 円</p>			

事業項目	①外国人誘客対策事業			
事業名	圏域インバウンドプロモーション			
事業概要	予 算 現 額	11,700,000 円		
圏域を一体的に発信する利点を活かし、重要ターゲット国* を定め、J N T O、山陰DMOと役割分担し、国別に有効な観光プロモーションを実施する。 *重要ターゲット国・・・山陽方面に來訪する欧米豪、直通及び近隣の国際路線による東アジア（台湾、香港、上海）	決 算 額	10,875,881 円		
	財 源	市長会負担金	9,499,000 円	
		DMO会費	0 円	
	内 訳	補助金	1,376,000 円	
		その他	諸収入	881 円
		前年度決算額	15,199,070 円	
1. 事業内容				
(1) 海外への観光プロモーションの実施				
○欧米豪向けプロモーション				
<ul style="list-style-type: none"> ・ J N T O（日本政府観光局）を活用したプロモーション J N T O 地域情報発信事業に「弓ヶ浜サイクリングコース」が採択され、英語版の紹介文が J N T O のオウンドメディア（web・Youtube・twitter）を通じて発信 ・ 英語版ホームページによる情報発信 英語版ホームページ改修（H29 スタートのホームページを改修、SNS 連携や情報更新）、エピソード追加（根雨-伯太-木綿街道-鷺浦） ・ 英語版フェイスブック、インスタグラムによる情報発信 英語版 SNS（フェイスブック・インスタグラム）情報発信 				
○台湾、上海向けプロモーション				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一畑トラベル台湾事務所による現地情報発信 ・ 台湾建国花市での圏域観光情報の紹介 ・ 訪日旅行サイト「JAPANKURU」での7言語での情報発信を実施 				
○WEBを活用した情報発信				
<ul style="list-style-type: none"> ・ リモートによる台湾商談会支援【観光庁補助事業 補助率 1/2】 台湾 16 社、日本 19 社によるリモート環境での商談会を令和 3 年 12 月 3 日に実施。 実績：2,752,000 円（補助金 1/2：1,376,000 円） 				
2. 経費内訳				
<ul style="list-style-type: none"> ・ J N T O 賛助会員会費 300,000 円 ・ 欧米豪向けプロモーション 5,484,101 円 ・ 台湾、上海向けプロモーション 2,328,450 円 ・ WEBを活用した情報発信 2,763,330 円 計 10,875,881 円 				

事業項目	②国内誘客対策事業		
事業名	国内広域観光プロモーション		
事業概要	予算現額	16,200,000 円	
国内旅行市場に大きな成長は見込めないが、全体に占める観光消費は高いことから広域的に多様な情報を発信して誘客を促進し、圏域への経済効果を高める。	決算額	16,075,180 円	
	財源	市長会負担金	14,920,000 円
		DMO会費	0 円
	内訳	補助金	0 円
		その他	1,155,180 円
	前年度決算額	996,150 円	

1. 事業内容

(1) クロスメディアによる情報発信事業

近年主流になりつつある経済効率の優れた広告媒体を利用したクロスメディアの手法により、総合的なメディアアプローチを実施

○クロスメディア情報発信

国内における旅行での往来が徐々に回復に向かっていることから「圏域観光エリアの発信」「冬の閑散期における発信」「春に向けた情報発信」の3ステップで効率的、効果的な情報発信を以下の手法により実施。

- ・プレスリリース 3回
- ・WEB広告 (google バナー及びディスプレイバナーによる配信)
- ・新規ツアープラン2件作成
- ・インフルエンサー招聘による取材と SNS による情報発信
- ・雑誌「旅の手帖」とのタイアップ記事掲載

(2) WEBによるプロモーション

○日本語版ホームページの拡充

○フェイスブック、インスタグラムを活用し旬の観光情報や、圏域の魅力を情報発信

- ・日本語ホームページに、過去2回の「インスタグラムハッシュタグキャンペーン」の優秀作品を撮影スポット付きフォトギャラリーにて新設。体験取材型ツアープランを1件新規追加。
- ・アフターコロナ、春の行楽シーズンに向け、圏域へ誘客を促進する女性向け雑誌媒体（集英社「BAILA」）とタイアップしたWEB及びSNSを活用したプロモーションを実施。

2. 経費内訳

・クロスメディアによる情報発信事業	9,676,920 円
・WEBによるプロモーション	6,398,260 円
計	16,075,180 円

事業項目	②国内誘客対策事業			
事業名	人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業			
事業概要			予算現額	10,500,000 円
人口集中地域である大都市部をターゲットとし、圏域の魅力や観光資源を積極的に情報発信し、圏域の認知度向上、観光誘客を図る。			決算額	10,007,835 円
	財源内訳	市長会負担金		10,007,000 円
		DMO会費		0 円
		補助金		0 円
		その他		835 円
			前年度決算額	15,050,832 円
1. 事業内容				
(1) 基幹交通機関と連携した観光プロモーションの実施				
○JR西日本と連携した事業実施（大阪、岡山での誘客プロジェクト）				
・キャラバンを組織した誘客事業 令和3年度未実施				
○航空機と連携した事業				
FDA路線と連携した誘客プロジェクト				
・FDA機内誌（2021秋号）の記事掲載（R3.10～12月）、静岡放送CM（R3.8～9月）				
・「21世紀出雲空港整備利用促進協議会」及び「米子空港利用促進懇話会」が実施する両空港の冬季利用促進事業				
・利用促進協議会及び促進協議会へ負担金（@750千円×2）				
(2) マイクロツーリズムの促進				
○南北軸を結ぶ山陽、四国方面を中心としたメディアプロモーション				
・5/23BSS ラジオ「中四国ライブネット」に圏域グルメを紹介する番組を制作し放送				
・広島市紙屋町「NAVIA」ビジョンでの圏域紹介動画を1時間に1回放映（R3.7～12）				
・情報誌「レンタカーパス」への広告掲出				
・岡山県在住で約16万人のフォロワーを有するインスタグラマーに圏域のスポットの撮影を依頼。R3.9に計10回投稿				
・タップして情報取得ができる「TIGシステム」を活用した動画を配信（R3.8～11）				
2. 経費内訳				
・JRと連携した誘客事業 0 円				
・FDA路線と連携した誘客事業 3,363,300 円				
・出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港の冬季利用促進経費 （750,000円×2空港） 1,500,000 円				
・マイクロツーリズム促進 5,144,535 円				
計 10,007,835 円				

事業項目	②国内誘客対策事業		
事業名	圏域観光再生支援プログラム		
事業概要	予 算 現 額		10,000,000 円
令和2年度補正予算「アフターコロナ緊急対策事業」に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光産業の再生を支援するとともに、回復期に合わせた海外への継続的な情報発信と受け入れ環境の整備に取り組む。	決 算 額		9,569,285 円
	財 源	市長会負担金	9,569,000 円
		DMO会費	0 円
	内 訳	補助金	0 円
		その他	285 円
	前年度決算額		22,097,984 円
1. 事業内容			
(1) マイクロツーリズムに対応した現地プロモーション			
○南北軸を結ぶ山陽、四国方面を中心とした現地プロモーション			
<ul style="list-style-type: none"> ・山陽、四国方面で予定していた現地プロモーションは実施中止。 ・自家用車を利用した旅行者の増加に備え「まっふる山陰' 22」での記事掲載(春) ・自家用車を利用した旅行者の増加に備え「まっふるドライブ」での記事掲載(秋) ・関西方面からの誘客を目的に、EDION ビジョンなんばに圏域紹介動画を放映 (R4. 2～R4. 4) 			
(2) 周遊促進キャンペーン			
○温泉、窯元、城等の圏域内の素材をテーマとした周遊促進を図る			
新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、各周遊促進キャンペーンを実施			
<ul style="list-style-type: none"> ・うんぱく三城重ね捺しスタンプラリー (R3. 7～8) 開催中止 ・第3回山陰まんなかハッシュタグキャンペーン (R3. 11～R4. 1) ・日帰り入浴施設湯めぐりキャンペーン (R3. 12～R4. 3) ※一時中断～4/25 			
(3) 感染症予防対策と両立した情報発信			
○テレビCM等による安心安全のPR、周知啓発			
<ul style="list-style-type: none"> ・5/30 テレビせとうち 夏休み期間をターゲットにした30分の圏域の各スポットを紹介する特別番組を制作、放映 ・テレビせとうち(中国・四国25万世帯)を活用した圏域CMの放映 (R3. 8～9) 			
2. 経費内訳			
・マイクロツーリズムに対応したプロモーション		2,830,000 円	
・周遊促進キャンペーン		4,749,175 円	
・感染症予防対策と両立した情報発信		1,990,110 円	
計		9,569,285 円	

事業項目	③圏域観光の魅力アップ事業		
事業名	圏域周遊促進及び受入環境充実		
事業概要	地域連携DMOの役割である「かせげる圏域づくり」を目指し、圏域観光の魅力を実質させ、国内外から圏域へ来訪する観光客の受け入れの充実を図るなど、リピーターの確保に繋がる取組を実施する。	予算現額	20,100,000 円
		決算額	17,725,611 円
		財源	市長会負担金 12,068,000 円
			DMO会費 2,425,512 円
		内訳	補助金 観光庁 3,231,500 円
			その他 599 円
		前年度決算額	9,831,083 円
1. 事業内容			
(1) 外国人観光客受入環境整備の実施			
○外国人観光客受入環境整備 令和2年度「グローバルコンテンツ造成事業」での造成コース評価、磨き上げとモニター実施、販売促進			
(2) テーマ別コンテンツの磨き上げ【観光庁補助金：観光庁訪日外国人旅行者周遊促進事業】			
○山陰の手仕事・クラフトツーリズム広域交流推進事業 ■申請額 6,000,000 円→補助対象額 5,000,000 円→契約額 4,840,000 円→実績額 4,560,000 円（補助金 1/2：2,280,000 円）			
○温泉宿泊施設を活用したワーケーション商品造成事業 ■申請額 3,000,000 円→補助対象額 3,000,000 円→契約額 2,930,000 円→実績額 1,903,000 円（補助金 1/2：951,500 円）			
(3) 圏域周遊の促進			
圏域周遊の魅力向上と誘客促進を目的に、観光局ホームページのフォトギャラリーを活用したオリジナルツアープランマップ生成システムを構築（セレクトトリップ）			
(4) 圏域内大型イベントと連携した周遊促進			
ジオパーク全国大会、sea 級グルメ中止につき実績なし			
(5) 「縁むすびスマートナビ」の活用			
○運用委託、活用検討会の実施 「縁結びスマートナビ」に関する活用方法を検討 →令和4年3月31日廃止			
(6) 各種事業との連携及びノベルティ・パンフレット作成等			
○「神話ゆかりの地周遊ドライブマップ」等の増刷			
2. 経費内訳			
	・外国人観光客受入環境整備		571,026 円
	・テーマ別コンテンツの磨き上げ		6,487,500 円
	・圏域促進の促進		2,750,000 円
	・「縁むすびスマートナビ」アプリ維持管理・運用業務委託		6,499,955 円
	・各種事業との連携及びノベルティ・パンフレット作成等経費		1,417,130 円
	計		17,725,611 円

事業項目	④中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費			
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営			
事業概要	予算現額	5,250,000 円		
圏域市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議が連携し、地域連携DMO組織として圏域全体の発展を見据え円滑な事務局運営体制を図る。	決算額	4,414,488 円		
	財源内訳	市長会負担金	0 円	
		DMO会費	4,414,488 円	
		補助金	0 円	
		その他	0 円	
前年度決算額	3,743,820 円			

1. 事業内容

(1) 圏域観光局総会・理事会の開催

- 理事会 ①4/27、②7/8（台風による災害のため書面開催）、③11/10、④1/17、⑤3/28
- 総会 3/31（書面開催）

(2) 山陰DMOとの連絡会の開催

- 4/9 山陰DMO連絡会議（リモート）

(3) 観光局の運営に係る職員等の雇用

- 令和2年度～（継続雇用）

(4) DMO組織の運営強化及び安定的な事務局運営の構築

- 専門的知識を有するアドバイザーの設置

2. 経費内訳

・専従職員（嘱託職員）設置経費	2,155,259 円
・事務局運営費	2,259,229 円
計	4,414,488 円